

2012（平成24）年度 短期大学認証評価申請用
短期大学基礎データ

新見公立短期大学

短期大学基礎データ作成上の注意事項

- 1 「短期大学基礎データ」は、原則として短期大学認証評価申請**前年度**の5月1日現在のデータで作成してください。ただし、各表において作成年に関する指示がある場合は、その指示に従って作成してください。
本様式は、2012（平成24）年度申請用に作成しているのので、特に注記がない場合、2011（平成23）年5月1日が作成標準日となります。
- 2 「短期大学基礎データ」は、A4判で作成してください。また、全体に通しページを付して、目次を作成してください。
- 3 各表に記入する数値について小数点以下の端数が出る場合、特に指示のない限り小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示してください。
- 4 必要に応じて備考欄や欄外に説明書きをほどこしてください。
- 5 様式に付されている脚注は消去しないでください。
- 6 該当しない表がある場合は、その表のタイトルと表番号のみを記入し、「該当なし」と注記してください。なお、作成しない表があっても各表の右上に付された表番号は変更しないでください。

【例】 「2 国家試験・資格試験合格率（表3）」
該当なし

- 7 専任教員（教授、准教授、講師、助教）に関するデータの作表にあたっては、「VII 教員組織 1 全学の教員組織（表20）」を基本とし、同表に専任として記載した教員について、学科、専攻科等ごとにその後の表を作成してください。
- 8 「専任教員の教育・研究業績」については短期大学・学科等の固有の業績一覧を提出してください。短期大学で固有の業績一覧を作成していない場合は、本「短期大学基礎データ」の（表14）及び（表15）を参考にして作表してください。

※表紙には、短期大学名を明記してください。

※本「短期大学基礎データ」(様式)は、大学基準協会のホームページ(<http://www.juaa.or.jp>)から入手できます。

目 次

	頁
I 教育研究組織	
1 設置学科、専攻科等 (表1)	1
II 学科・専攻科の教育内容・方法等	
1 学科の開設授業科目における専兼比率 (表2)	2
2 国家試験・資格試験合格率 (表3)	3
3 単位互換協定に基づく単位認定の状況 (表4)	4
4 卒業判定 (表5)	5
5 就職・進学状況 (表6)	6
6 学生の国別国際交流 (表7)	8
III 学生の受け入れ	
1 学科・専攻科の志願者・合格者・入学者数の推移 (表8)	9
2 学科・専攻科の学生定員及び在籍学生数 (表9)	13
3 学科の入学者の構成 (表10)	14
4 学科の退学者数 (表11)	15
IV 学生生活	
1 学生相談室利用状況 (表12)	16
2 奨学金給付・貸与状況 (表13)	17
V 研究活動と研究環境	
1 専任教員の教育・研究業績 (表14)	18
2 専任教員の教育・研究業績 (芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員) (表15)	19
3 教員研究費 (表16)	20
4 科学研究費の採択状況 (表17)	23
5 教員研究室 (表18)	24
VI 社会貢献	
1 公開講座の開設状況 (表19)	25

VII 教員組織	
1 全学の教員組織 (表20)	26
2 専任教員個別表 (表21)	27
3 専任教員年齢構成 (表22)	39
4 専任教員の担当授業時間 (表23)	43
5 専任教員の給与 (表24)	46
VIII 事務組織	
1 事務組織 (表25)	47
IX 施設・設備等	
1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積 (表26)	48
2 学科・専攻科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模 (表27)	49
3 規模別講義室・演習室使用状況一覧表 (表28)	51
X 図書館および図書・電子媒体	
1 図書、資料の所蔵数 (表29)	52
2 学生閲覧室等 (表30)	53
3 図書館利用状況 (表31)	54
XI 財務	
1-1 消費収支計算書関係比率 (法人全体のもの) (表32-1)	55
1-2 消費収支計算書関係比率 (短期大学単体のもの) (表32-2)	56
2 貸借対照表関係比率 (表33)	57
XII 情報公開・説明責任	
1-1 財政公開状況 (私立短期大学のみ) (表34-1)	58
1-2 財政公開状況 (公立大学法人のみ) (表34-2)	59

I 教育研究組織

1 設置学科、専攻科等（2012年4月1日現在）

（表1）

短期大学名	学 科	専 攻・コース	専 攻 科
(公) 新見公立短期大学 (岡山県新見市西方 1263-2)	幼児教育学科<1980年4月> 地域福祉学科<1996年4月>	—	地域看護学専攻科<2004年4月>

- [注] 1 申請年（2012年）4月1日付で設置している学科、専攻科を記入してください。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織、または通信教育課程、別科等がある場合には、学科に
ならい記入してください。
- 3 学科や専攻ごとに開設年月日を<>に記入してください。
- 4 申請年（2012年）度から学生受入を開始、もしくは学生募集を停止、名称を変更した学科や専攻には、<>にその旨を付記してください。
- 5 申請年（2012年）4月時に完成年度に達していない学科・専攻科には※を、申請資格充足年度（完成年度+1年）に達していない学科
・専攻科には（※）を付記してください。

II 学科・専攻科の教育内容・方法等

1 学科の開設授業科目における専兼比率

(表2)

学 科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
幼児教育学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	27.8	-	46.1
		兼任担当科目数 (B)	7.2	-	11.9
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	79.4	-	79.5
	教養教育	専任担当科目数 (A)	3.0	-	9.0
		兼任担当科目数 (B)	0.0	-	3.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	-	75.0
地域福祉学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	27.4	-	29.1
		兼任担当科目数 (B)	8.6	-	11.9
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	76.1	-	71.0
	教養教育	専任担当科目数 (A)	1.0	-	4.0
		兼任担当科目数 (B)	0.0	-	1.0
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	-	80.0

- [注] 1 この表は、短期大学設置基準第20条の二にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学科・専攻科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 3 「専門教育」欄及び「教養教育」欄は、短期大学の設定する区分に応じて名称を記入してください。
その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養的な教育に分けて記入してください。
- 4 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 5 同一科目を週2回実施している場合のカウント方法は、
①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 6 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記入してください。
(例：専任4人、兼任1人で担当した場合は、専任0.8、兼任0.2となります)

2 国家試験・資格試験合格率

(表3)

学科・専攻科	国家試験・資格試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B) (取得者数)	合格率 (%) $B/A*100$
幼児教育学科	保育士 (登録)	51	51	100
幼児教育学科	幼稚園教諭2種免許状 (授与申請)	49	49	100
地域福祉学科	介護福祉士 (登録)	55	55	100
地域看護学専攻科	保健師国家試験	15	15	100

[注] 1 受験者数が把握できない場合は、合格者数のみ記入してください。なお、所定の単位を修得し、卒業することで得られる資格についても、資格の名称と取得者数を記入してください。

2 2010年度の実績を記入してください。

3 単位互換協定に基づく単位認定の状況

該当なし

(表4)

4 卒業判定

(表5)

学 科	2008年度			2009年度			2010年度		
	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
幼児教育学科	51	50	98.0	53	52	98.1	53	51	96.2
地域福祉学科	47	47	100.0	47	45	95.7	57	55	96.5
地域看護学専攻科	16	16(11)	100(68.8)	16	16(12)	100(75.0)	16	15(10)	93.8(66.7)
計	114	113(11)	99.1(68.8)	116	113(12)	97.4(75.0)	126	121(10)	96.0(66.7)

- [注] 1 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学科の最終学年に在籍する学生を指します。
 2 セメスター制の場合、年度でまとめてください。
 3 専攻科では、「合格者」欄において（ ）内に学位取得者数を内数で記入してください。また、「合格率(%)」欄における（ ）内に学位取得率を記入してください。

5 就職・進学状況

(表6)

学 科	進 路		2008年度	2009年度	2010年度
幼児教育	就職	民間企業	46	38	36
		官公庁	4	11	10
		上記以外	-	-	1
		(保育士)	(30)	(31)	(37)
		(幼稚園教諭)	(11)	(15)	(7)
	進学	併設大学編入	-	-	-
		他大学編入	-	3	1
		専攻科	-	-	1
		上記以外	-	-	-
	そ の 他		-	-	2
合 計		50	52	51	
地域福祉	就職	民間企業	42	41	49
		官公庁	-	-	-
		上記以外	-	-	-
		(介護福祉士)	(42)	(41)	(49)
	進学	併設大学編入	-	-	-
		他大学編入	5	3	6
		専攻科	-	1	-
		上記以外	-	-	-
	そ の 他		-	-	-
	合 計		47	45	55

学 科	進 路		2008年度	2009年度	2010年度
専攻科 地域看護学専攻	就職	民間企業	7	6	12
		官公庁	9	9	3
		上記以外	-	-	-
		(看護師)	(6)	(5)	(11)
		(保健師)	(10)	(9)	(3)
		(養護教諭)	(0)	(1)	(0)
	進学	大学院	-	-	-
		上記以外	-	1	-
	そ の 他		-	-	-
	合 計		16	16	15

- [注] 1 「その他」欄には、当該学科の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。
- 2 (A)の欄には、看護師や栄養士等の有資格者として職業に就いた卒業生数を内数で記入してください。学科や専攻科の特性に応じて自由に欄を増やし、特にない場合はこの欄を削除してください。

6 学生の国別国際交流

該当なし

(表7)

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学科・専攻科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表8)

		入試の種類		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	過去5年間におけるA/Bの平均
幼 児 教 育 学 科	一般入試 (含:センター入 試)	志願者		148	150	149	144	103	
		合格者		50	45	47	34	34	
		入学者		26	25	27	21	23	
		入学定員		25	25	25	20	20	
	AO入試	志願者		-	-	-	-	-	
		合格者		-	-	-	-	-	
		入学者		-	-	-	-	-	
		入学定員		-	-	-	-	-	
	附属校推薦	志願者		-	-	-	-	-	
		合格者		-	-	-	-	-	
		入学者		-	-	-	-	-	
		入学定員		-	-	-	-	-	
	指定校推薦	志願者		8	7	0	3	4	
		合格者		8	7	0	3	4	
		入学者		8	7	0	3	4	
		入学定員		5	5	5	5	5	
	公募推薦入試	志願者		57	59	64	65	58	
		合格者		19	20	26	26	27	
		入学者		19	20	26	26	27	
		入学定員		20	20	20	25	25	
	(その他)	志願者		-	-	-	-	-	
		合格者		-	-	-	-	-	
		入学者		-	-	-	-	-	
		入学定員		-	-	-	-	-	
	計	志願者		213	216	213	212	165	
		合格者		77	72	73	63	65	
		入学者(A)		53	52	53	50	54	
		入学定員(B)		50	50	50	50	50	
A/B			1.06	1.04	1.06	1.00	1.08		

		入試の種類		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	過去5年間におけるA/Bの平均
地域 福祉 学科		一般入試 (含:センター入 試)	志願者	32	27	43	24	27	
			合格者	28	19	19	15	16	
			入学者	17	6	9	8	9	
			入学定員	15	10	10	10	10	
		AO入試	志願者	-	12	39	20	28	
			合格者	-	12	16	19	19	
			入学者	-	12	16	19	19	
			入学定員	-	12	13	15	15	
		附属校推薦	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者	-	-	-	-	-	
			入学定員	-	-	-	-	-	
		指定校推薦	志願者	13	18	16	19	17	
			合格者	13	18	16	19	17	
			入学者	13	17	16	19	17	
			入学定員	13	13	13	11	13	
		公募推薦入試	志願者	21	18	25	3	7	
			合格者	18	14	14	3	7	
			入学者	18	14	14	3	7	
			入学定員	20	13	12	12	10	
		特別選抜・社会人	志願者	1	0	0	1	0	
			合格者	1	0	0	1	0	
			入学者	1	0	0	1	0	
			入学定員	2	2	2	2	2	
		計	志願者	67	75	123	67	79	
			合格者	60	63	65	57	59	
			入学者(A)	49	49	55	50	52	
			入学定員(B)	50	50	50	50	50	
A/B	0.98		0.98	1.10	1.00	1.04			

		入試の種類		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	過去5年間におけるA/Bの平均
地域看護学専攻科		一般入試 (含:センター入 試)	志願者	51	49	73	40	32	
			合格者	10	9	8	8	9	
			入学者	9	8	8	8	8	
			入学定員	8	8	8	8	8	
		AO入試	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者	-	-	-	-	-	
			入学定員	-	-	-	-	-	
		附属校推薦	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者	-	-	-	-	-	
			入学定員	-	-	-	-	-	
		指定校推薦	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者	-	-	-	-	-	
			入学定員	-	-	-	-	-	
		公募推薦入試	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者	-	-	-	-	-	
			入学定員	-	-	-	-	-	
		特別選抜・社会人	志願者	7	11	13	11	12	
			合格者	7	8	8	8	8	
			入学者	7	8	8	8	8	
			入学定員	7	7	7	7	7	
計	志願者	58	60	86	51	44			
	合格者	17	17	16	16	17			
	入学者(A)	16	16	16	16	16			
	入学定員(B)	15	15	15	15	15			
	A/B	1.07	1.07	1.07	1.07	1.07			
短期大学合計	志願者	338	351	422	330	288			
	合格者	154	152	154	136	141			
	入学者(A)	118	117	124	116	122			
	入学定員(B)	115	115	115	115	115			
	A/B	1.03	1.02	1.08	1.01	1.06			

- [注] 1 「入試の種類」欄は、社会人入試、留学生入試など、短期大学の実状に合わせて適宜追加・削除してください。
- 2 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 3 学科・専攻科が複数専攻で構成されている場合は、「学科合計」欄・「専攻科合計」欄を設けて各学科の「合計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、複数学科を設置している短期大学の場合は、「短期大学合計」欄を設け、同様に記入してください。なお、入試の種類ごとには分けなくても構いません。
- 4 過去5年間（2007～2011年）の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「過去5年間における入学定員に対する入学者数比率の平均」欄に記入してください。ここでは小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位まで出してください。
- 5 各入学定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

2 学科・専攻科の学生定員及び在籍学生数

(表9)

学科・専攻科	専攻	入学 定員	収容 定員 (A)	在籍学生 総数 (B)	B/A	在籍学生数						備考
						1年次			2年次			
						学生数 (C)	留年者数 (内数) (D)	留年率 D/C (%)	学生数 (C)	留年者数 (内数) (D)	留年率 D/C (%)	
幼児教育学科		50	100	102	1.02	54	0	0.00	48	0	0.00	
地域福祉学科		50	100	102	1.02	52	0	0.00	50	2	4.00	
地域看護学専攻科		15	15	17	1.13	17	1	5.88	-	-	-	
合計		115	215	221	1.03	123	1	0.81	98	2	2.04	

- [注] 1 昼夜開講制をとっている学科については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
 2 現在の在籍学生に関わる入学定員に変更があった場合には、備考欄に注記してください。
 3 3年制の場合には、3年次まで作成してください。
 4 「B/A」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。
 5 通信教育課程、別科等についても学科の表に準じて作成してください。

3 学科の入学者の構成

(表10)

学 科	専 攻		入 学 者 数						備 考	
			一般入試 (含:センター入試)	AO入試	附属校 推薦	指定校 推薦	公募推薦 入試	特別選抜・ 社会人		計
幼児教育学科		入学定員	20	-	-	5	25	-	50	
		入学者数	23	-	-	4	27	-	54	
		計に対する割合	42.6%	- %	- %	7.4%	50.0%	- %	100.0%	
合 計		入学定員	20	-	-	5	25	-	50	
		入学者数	23	-	-	4	27	-	54	
		計に対する割合	42.6%	- %	- %	7.4%	50.0%	- %	100.0%	
地域福祉学科		入学定員	10	15	-	13	10	2	50	
		入学者数	9	19	-	17	7	0	52	
		計に対する割合	17.3%	36.5%	- %	32.7%	13.5%	0.0%	100.0%	
合 計		入学定員	10	15	-	13	10	2	50	
		入学者数	9	19	-	17	7	0	52	
		計に対する割合	17.3%	36.5%	- %	32.7%	13.5%	0.0%	100.0%	
地域看護学専攻科		入学定員	8	-	-	-	-	7	15	
		入学者数	8	-	-	-	-	8	16	
		計に対する割合	50.0%	- %	- %	- %	- %	50.0%	100.0%	
合 計		入学定員	8	-	-	-	-	7	15	
		入学者数	8	-	-	-	-	8	16	
		計に対する割合	50.0%	- %	- %	- %	- %	50.0%	100.0%	

- [注] 1 「入試の種類」欄は、社会人入試、留学生入試など、短期大学の実状に合わせて適宜追加・削除してください（表8と統一）。
 2 各学科及び合計欄の下段には全入学者数に対する割合を記入してください。
 3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
 4 各入学定員が若干名の場合は「0」として記入してください。
 5 「その他」の入試による内訳を、備考欄に記入してください。（例：社会人入試○名、外国人留学生入試△名）

4 学科の退学者数

(表11)

学 科	専 攻	2008年度				2009年度				2010年度			
		1年次	2年次	合計	退学率 (%)	1年次	2年次	合計	退学率 (%)	1年次	2年次	合計	退学率 (%)
幼児教育学科		1	-	1	1.0	-	-	-	-	4	-	4	3.9
地域福祉学科		2	2	4	4.2	-	-	-	-	2	-	2	1.9
合 計		3	2	5	2.5	-	-	-	-	6	-	6	2.9

[注] 退学率は、各年5月1日現在の在籍学生数に対する当該年度中の退学者の割合を出してください（退学者数には、除籍者も含めます）。

IV 学生生活

1 学生相談室利用状況

(表12)

施設の名称	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						2008年度	2009年度	2010年度	
カウンセリング室	0	1	1	23	16 :20～ 18:40	10	7	3	非常勤スタッフ：資格を持ったカウンセラー

[注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄に記入してください。

2 併設大学と共用の学生相談室であっても、「年間相談件数」は短期大学の学生の相談件数を記入してください。

2 奨学金給付・貸与状況

(表13)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数(A)	在籍学生総数(B)	在籍学生数に対する比率 A/B*100	支給総額(C)	1件あたり支給額 C/A
公立大学法人新見公立大学奨学金	学内	貸与	4	352	1.1	700,000	175,000
日本学生支援機構奨学金	学外	貸与	94	352	26.7	64,716,000	688,468
岡山県介護福祉士等修学資金	学外	貸与	8	352	2.3	4,440,000	555,000
鳥取県介護福祉士等修学資金	学外	貸与	1	352	0.3	600,000	600,000
島根県介護福祉士等修学資金	学外	貸与	3	352	0.9	1,800,000	600,000
島根県看護学生修学資金	学外	貸与	1	352	0.3	600,000	600,000
島根県育英会奨学金	学外	貸与	1	352	0.3	600,000	600,000
西脇市奨学金	学外	貸与	1	352	0.3	600,000	600,000

[注] 学内の奨学金及び日本学生支援機構等の学外の奨学金について、2010年度の実績を記入してください。

V 研究活動と研究環境

- 1 専任教員の教育・研究業績（表14）
別添資料のとおり

（表14）

(表15)

2 専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員）（表15）
別添資料のとおり

3 教員研究費

(表16)

学 科・ 専攻 科等	研究費の内訳	2008年度			2009年度			2010年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	教員1人あたりの額	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	教員1人あたりの額	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	教員1人あたりの額
幼 児 教 育 学 科	研究費総額	8,021,000	100.0%	2,008,500	6,768,000	100.0%	2,222,545	6,670,000	100.0%	2,142,727
	学内									
	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	5,005,000	62.4%	500,500	5,000,000	73.9%	454,545	4,980,000	74.7%	452,727
	学内共同研究費	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	学外									
	科学研究費補助金	3,016,000	37.6%	1,508,000	1,768,000	26.1%	1,768,000	1,690,000	25.3%	1,690,000
	政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	民間の研究助成財団 等からの研究助成金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	奨学寄附金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	受託研究費	-	-	-	-	-	-	-	-	-
共同研究費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

3 教員研究費

(表16)

学科・専攻科等	研究費の内訳	2008年度			2009年度			2010年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	教員1人あたりの額	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	教員1人あたりの額	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	教員1人あたりの額
地域福祉学	研究費総額	4,935,000	100.0%	1,570,556	5,385,000	100.0%	1,006,500	5,080,000	100.0%	1,322,778
	学内									
	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	3,785,000	76.7%	420,556	4,865,000	90.3%	486,500	3,130,000	61.6%	347,778
	学内共同研究費	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	学外									
	科学研究費補助金	650,000	13.2%	650,000	520,000	9.7%	520,000	1,950,000	38.4%	975,000
	政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	民間の研究助成財団 等からの研究助成金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	奨学寄附金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	受託研究費	500,000	10.1%	500,000	-	-	-	-	-	-
共同研究費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

3 教員研究費

(表16)

学科・専攻科等	研究費の内訳	2008年度			2009年度			2010年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	教員1人あたりの額	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	教員1人あたりの額	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	教員1人あたりの額
地域看護学専攻科	研究費総額	1,800,000	100.0%	600,000	1,800,000	100.0%	600,000	1,680,000	100.0%	560,000
	学内									
	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	1,800,000	100.0%	600,000	1,800,000	100.0%	600,000	1,680,000	100.0%	560,000
	学内共同研究費	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	学外									
	科学研究費補助金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	民間の研究助成財団等からの研究助成金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	奨学寄附金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	受託研究費	-	-	-	-	-	-	-	-	-
共同研究費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

- [注] 1 研究費総額には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入し、旅費も含めてください。
- 2 「学内共同研究費」は競争的な共同研究費に限ります。

4 科学研究費の採択状況

(表17)

学科・専攻科等	科 学 研 究 費								
	2008年度			2009年度			2010年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
幼児教育学科	1	0	0.0	4	2	50.0	2	0	0.0
地域福祉学科	1	0	0.0	1	0	0.0	3	2	66.7
地域看護学専攻科	0	0	0.0	0	0	0.0	1	0	0.0
計	2	0	0.0	5	2	40.0	6	2	33.3

[注] 1 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

2 ここでは、文部科学省の科学研究費を指します。

5 教員研究室

(表18)

学 科 専攻科	室 数			総面積 (m ²)	1室あたりの平均面積 (m ²)		専任教員数 (B)	個室率(%) A/B*100	教員1人あたりの平均面積 (m ²)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
幼児教育学科	14	-	14	348.0	24.9	-	12	100	26.0	
地域福祉学科	8	-	8	160.0	20.0	-	8	100	20.0	
地域看護学専攻科	3	-	3	60.0	20.0	-	3	100	20.0	
看護学科	4	-	4	90.2	22.5	-	2	100	27.9	
計	29	-	29	658.2	22.7	-	25	100	26.3	

- [注] 1 「室数」、「総面積」欄には、学科、専攻科等の保有する全ての教員研究室についてこれを記入してください。
- 2 「1室あたりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は、学科、専攻科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について、「Ⅶ 1 全学の教員組織」(表20)の専任教員数により算出してください。
- 3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。
- 4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

VI 社会貢献

1 公開講座の開設状況

(表19)

短期大学 学科	年間開設講座数(A)			募集人員(延べ数)			参加者(延べ数)(B)			1講座当たりの 平均受講者数 B/A			備考
	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	
公開講座	0	4	4	0	200	200	0	110	76	0.0	27.5	19.0	各学科対応
岡山県生涯学習大学	8	0	8	400	0	400	123	0	286	15.4	0.0	35.8	各学科対応
計	8	4	12	400	200	600	123	110	362	15.4	27.5	30.2	

- [注] 1 ここでの公開講座とは、短期大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。シンポジウム、講演会は含めないでください。
- 2 併設大学と共催の場合は、備考欄にその旨明記してください。

VII 教員組織

1 全学の教員組織

(表20)

学科、専攻科、 研究所等	専任教員数					助手	設置基 準上必 要専任 教員数	専任教員 1人あた りの在籍 学生数(表 9 B/A)	特任 教員等 (外数)	兼任教員数					兼任 教員 数	併設大 学から の兼任 教員数 (内数)	備 考
	教授	准教授	講師	助教	計(A)					教授	准教授	講師	助教	計			
幼児教育学科	3	2	6	1	12	-	6	8.5	-	-	-	-	-	0	27	7	
地域福祉学科	3	-	4	1	8	-	7	12.8	-	-	-	2	-	2	20	2	
専攻科 地域看護学 専攻	1	1	1	-	3	-	/	/	-	1	-	-	-	1	20	1	
短期大学全体の入学定員に応 じ定める専任教員数	/	/	/	/	/	/	3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
合 計	7	3	11	2	23	0	16	/	0	1	0	2	0	3	67	10	

- [注] 1 教員については、学科・専攻科・研究所等、各所属組織ごとに記載してください。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、欄を設けて数値を記入してください。
- 3 専任とは、常勤する者をいい、兼任とは、学外からの兼務者をいいます。また、併設大学からの兼務者も兼任教員に含めてください。
- 4 客員教授、特任教授及びこれに準じる者については、専任者（研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」欄の「教授」、「准教授」、「講師」、「助教」の該当する欄に含めて記入し、それ以外の特任者等については「特任教員等（外数）」欄にその数を記入してください。
- 5 専任教員数の計（A）欄には、教授、准教授、講師、助教の合計数を記入してください。
- 6 ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）がいる場合は、「備考」欄にそのおのおのの名称と人数を記入してください。
- 7 同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれカウントしてください（重複可）。もしくは、短期大学の状況によっては、兼任教員数の欄は専攻ごとではなく学科全体で記入しても構いません。
- 8 同一の専任教員が複数の学科を担当する場合は、本務以外の学科の兼任教員欄にそれぞれカウントしてください（重複可）。もしくは、短期大学の状況によっては、兼任教員数の欄は専攻ごとではなく学科全体で記入しても構いません。

2 専任教員個別表

幼児教育学科

(表21)

職名	氏名	性別	年齢	就 職 年 月 日	現 職 就 任 年 月 日	所 属 専 攻	授業科目								最終学歴及び 学位称号	
							毎週授業時間数									
							科目名	講義		演習		実験・実 習・実技		計		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		後期
教授	安達 雅彦	男	58	S58. 4. 1	H9. 4. 1	—	「表現」指導法・総合表現	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	東京芸術大学大 学院音楽研究科 器楽専攻修士課 程修了 芸術学修士
							音楽Ⅰ・基礎音楽Ⅰ	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	
							音楽Ⅰ・器楽Ⅰ	-	-	4.0	-	-	-	4.0	-	
							音楽Ⅱ・器楽Ⅱ	-	-	-	4.0	-	-	-	4.0	
							音楽Ⅱ・幼児音楽Ⅰ	-	-	4.0	-	-	-	4.0	-	
音楽Ⅱ・幼児音楽Ⅱ	-	-	-	4.0	-	-	-	4.0								
総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7								
計①	-	-	11.3	10.7	-	-	11.3	10.7								
音楽	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-								
計②	2.0	-	11.3	10.7	-	-	13.3	10.7								
教授	田邊 洋	男	61	S55. 4. 1	H5. 4. 1	—	生活化学	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	東京大学大学院 理学系研究科化 学専攻博士課程 単位取得満期退 学 理学修士
							計①	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							生活化学	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
計②	4.0	-	-	-	-	-	4.0	-								
教授	片山 啓子	女	59	H2. 4. 1	H10. 4. 1	—	「健康」指導法	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	広島大学教育学 部高校教員養成 課程体育専攻卒 業 教育学士
							「表現」指導法・身体表現Ⅰ	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	
							「表現」指導法・身体表現Ⅱ	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	
							「表現」指導法・総合表現	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	
							「表現」指導法・表現技術	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	
							幼児体育	-	-	1.2	0.3	-	-	1.2	0.3	
総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7								
計①	-	-	6.5	7.0	-	-	6.5	7.0								

准教授	齋藤 健司	男	43	H6.4.1	H20.4.1	—	生命科学	0.7	-	-	-	-	-	0.7	-	岡山理科大学大学院理学研究科 生物化学専攻 修士課程修了 博士(医学) 岡山大学
							情報処理	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							「環境」指導法	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	
							生活	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	
							総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7	
							計①	2.0	2.0	3.3	0.7	-	-	5.3	2.7	
							自然科学Ⅰ	0.8	-	-	-	-	-	0.8	-	
							自然科学Ⅱ	0.7	-	-	-	-	-	0.7	-	
准教授	岡本 直行	男	41	H18.4.1	H20.4.1	—	情報処理	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	広島大学大学院 学校教育研究科 修士課程美術教育 専攻修了 教育学修士
							人体構造学	0.3	-	-	-	-	-	0.3	-	
							生命活動と代謝	-	1.5	-	-	-	-	-	1.5	
							医療情報	0.1	-	-	-	-	-	0.1	-	
							計②	3.9	3.5	3.3	2.7	-	-	7.2	6.2	
							「表現」指導法・造形表現Ⅰ	-	-	4.0	-	-	-	4.0	-	
							「表現」指導法・造形表現Ⅱ	-	-	-	4.0	-	-	-	4.0	
							「表現」指導法・総合表現	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	
「表現」指導法・表現技術	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-								
准教授	岡本 直行	男	41	H18.4.1	H20.4.1	—	図画工作	-	-	4.0	4.0	-	-	4.0	4.0	教育学修士
							総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7	
							計①	-	-	11.3	10.7	-	-	11.3	10.7	
							美術	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							計②	2.0	-	11.3	10.7	-	-	13.3	10.7	

講師	吉村 淳子	女	56	S56. 4. 1	H8. 4. 1	—	音楽Ⅰ・器楽Ⅰ	-	-	4.0	-	-	-	4.0	-	大阪市立大学大学院文学研究科前期博士課程修了 修士（文学）	
							音楽Ⅱ・器楽Ⅱ	-	-	-	4.0	-	-	-	4.0		-
							音楽Ⅱ・幼児音楽Ⅰ	-	-	4.0	-	-	-	4.0	-		-
							音楽Ⅱ・幼児音楽Ⅱ	-	-	-	4.0	-	-	-	4.0		-
							総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7		-
							ヒューマン・タウンウォッチング	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-		-
							音の文化論	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-		-
							療養音楽	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0		-
							介護の基礎Ⅲ	0.2	-	0.5	-	-	-	0.7	-		-
介護総合演習Ⅰ	-	-	0.1	-	-	-	0.1	-	-								
計①	0.2	-	13.9	10.7	-	-	14.1	10.7	-								
講師	芝崎 美和	女	33	H19. 4. 1	H19. 4. 1	—	保育の心理学Ⅰ	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	広島大学大学院教育学研究科教育人間科学専攻博士課程後期修了 博士（心理学）	
							発達心理学演習Ⅱ	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0		-
							発達心理学演習Ⅲ	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-		-
							教育心理学	-	4.0	-	-	-	-	-	4.0		-
							総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7		-
							保育・教職実践演習（幼稚園）	-	-	-	0.4	-	-	-	0.4		-
計①	2.0	4.0	3.3	3.1	-	-	5.3	7.1	-								
心理学概論	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	-								
計②	4.0	4.0	3.3	3.1	-	-	7.3	7.1	-								
講師	渡部 昌史	男	33	H18. 4. 1	H21. 4. 1	—	生涯スポーツ論	1.0	-	-	-	-	-	1.0	-	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科単位取得退学 博士（学校教育学） 兵庫教育大学大学院連合学校	
							スポーツ実習（幼教）	-	-	-	-	2.0	1.0	2.0	1.0		
							幼児体育	-	-	0.8	1.7	-	-	0.8	1.7		-
							総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7		-
							スポーツ実習（地福）	-	-	-	-	1.3	0.7	1.3	0.7		-
							計①	1.0	-	2.1	2.4	3.3	1.7	6.4	4.1		-
							生涯スポーツ論	-	1.0	-	-	-	-	-	1.0		-
							スポーツ実習A	-	-	-	-	2.0	-	2.0	-		-
							スポーツ実習B	-	-	-	-	-	2.0	-	2.0		-
計②	1.0	1.0	2.1	2.4	5.3	3.7	8.4	7.1	-								

講師	八尋 茂樹	男	44	H22. 4. 1	H22. 4. 1	—	社会福祉	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	茨城大学大学院 教育学研究科学 校教育専攻修了 修士（教育学）
							社会福祉援助技術	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0	
							児童家庭福祉	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	
							社会的養護	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	
							教育相談	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	
							総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7	
							保育実習Ⅰ（施設）	-	-	-	-	6.0	-	6.0	-	
							保育実習指導	-	-	-	-	1.0	-	1.0	-	
							保育実習Ⅲ	-	-	-	-	6.0	-	6.0	-	
							保育・教職実践演習（幼稚園）	-	-	-	0.4	-	-	-	0.4	
計①	2.0	4.0	3.3	5.1	13.0	-	18.3	9.1								
講師	武石 典史	男	39	H23. 4. 1	H23. 4. 1	—	社会学	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	東京大学大学院 教育学研究科総 合教育科学専攻 比較教育社会学 コース博士課程 修了 博士（教育学）
							保育原理	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							教育学総論	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							保育者論	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	
							保育原理Ⅱ	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	
							保育課程総論Ⅰ	-	-	0.4	-	-	-	0.4	-	
							総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7	
							教育実習	-	-	-	-	5.5	5.5	5.5	5.5	
							教育実習指導	-	-	-	-	0.9	0.6	0.9	0.6	
							保育・教職実践演習（幼稚園）	-	-	-	0.4	-	-	-	0.4	
計①	6.0	4.0	1.7	1.1	6.4	6.1	14.1	11.2								
教育学	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-								
計②	8.0	4.0	1.7	1.1	6.4	6.1	16.1	11.2								

講師	伊勢 慎	男	30	H23. 4. 1	H23. 4. 1	—	保育方法論	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	岡山大学大学院 教育学研究科学 校教育専攻幼児 教育講座（修士 課程）修了 教育学修士		
							保育課程総論Ⅱ	-	-	-	2.0	-	-	-	-		-	2.0
							「人間関係」指導法	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-		-	-
							「言葉」指導法	-	-	-	2.0	-	-	-	-		-	2.0
							総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7		-	-
							教育実習	-	-	-	-	5.5	5.5	5.5	5.5		-	-
							教育実習指導	-	-	-	-	0.9	0.6	0.9	0.6		-	-
							保育・教職実践演習（幼稚園）	-	-	-	0.4	-	-	-	0.4		-	-
計①	2.0	-	3.3	5.1	6.4	6.1	11.7	11.2	-	-								
助教	三好 年江	女	48	H16. 4. 1	H19. 4. 1	—	保育課程論	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	佛教大学教育学 部教育学科卒業 教育学士		
							保育課程総論Ⅰ	-	-	1.6	-	-	-	1.6	-		-	
							乳児保育Ⅰ	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0		-	-
							乳児保育Ⅱ	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-		-	
							総合研究	-	-	1.3	0.7	-	-	1.3	0.7		-	-
							保育実習Ⅰ（保育所）	-	-	-	-	-	3.2	-	3.2		-	-
							保育実習指導	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0		-	-
							保育実習Ⅱ	-	-	-	-	3.2	-	3.2	-		-	-
							保育・教職実践演習（幼稚園）	-	-	-	0.4	-	-	-	0.4		-	-
計①	-	2.0	6.9	3.1	4.2	4.2	11.1	9.3	-	-								

職名	氏名	性別	年齢	就 職 年 月 日	現 職 就 任 年 月 日	—	授業科目								最終学歴及び 学位称号	
							毎週授業時間数									
							科目名	講義		演習		実験・実 習・実技		計		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		後期								
教授	井関 智美	女	63	S56.4.1	H14.4.1	—	地域文化演習	-	-	1.0	-	-	-	1.0	-	岡山県立大学保 健福祉学部博士 後期課程修了 博士（保健学）
							介護概論	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							生活支援技術Ⅰ	0.3	-	0.4	0.3	-	-	0.7	0.3	
							生活支援技術Ⅱ	-	0.4	-	0.3	-	-	-	0.7	
							生活支援技術Ⅲ	0.5	-	0.4	-	-	-	0.9	-	
							介護過程Ⅱ	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	
							介護過程Ⅲ	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	
							介護過程Ⅳ	-	-	0.3	-	-	-	0.3	-	
							介護総合演習Ⅱ	-	-	0.7	1.3	-	-	0.7	1.3	
							実習指導	-	-	0.3	0.4	-	-	0.3	0.4	
							介護実習Ⅰ	-	-	-	-	-	1.5	-	1.5	
							介護実習Ⅱ	-	-	-	-	2.3	-	2.3	-	
							介護実習Ⅲ	-	-	-	-	-	2.7	-	2.7	
							介護実習Ⅳ	-	-	-	-	-	0.7	-	0.7	
							障害の理解	0.2	0.7	-	-	-	-	0.2	0.7	
							こころとからだのしくみⅢ	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
地域福祉研究	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0								
計①	5.0	1.1	7.1	6.3	2.3	4.9	14.4	12.3								

教授	伊藤 博康	男	61	H13.4.1	H13.4.1	—	人間の尊厳と自立	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	大阪大学大学院 医学研究科博士 課程単位取得退 学 文学修士（明星 大学）
							社会福祉援助技術論	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							地域文化演習	-	-	-	1.0	-	-	-	1.0	
							地域福祉論	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	
							介護の基礎Ⅰ	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							地域福祉研究	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0	
							計①	4.0	4.0	2.0	3.0	-	-	6.0	7.0	
教授	久保田 トミ子	女	65	H21.4.1	H21.4.1	—	地域文化演習	-	-	1.5	1.5	-	-	1.5	1.5	長崎純心大学大 学院人間文化研 究科人間文化専 攻博士前期課程 修了 修士（学術・福 祉）
							介護概論	-	1.1	-	0.9	-	-	-	2.0	
							生活支援技術Ⅰ	-	-	-	0.4	-	-	-	0.4	
							生活支援技術Ⅱ	-	-	0.4	-	-	-	0.4	-	
							介護過程Ⅰ	0.8	0.9	0.2	0.1	-	-	1.0	1.0	
							介護過程Ⅱ	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	
							介護過程Ⅲ	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	
							介護過程Ⅳ	-	-	-	1.6	-	-	-	1.6	
							介護総合演習Ⅱ	-	-	0.7	1.3	-	-	0.7	1.3	
							実習指導	-	-	0.3	0.4	-	-	0.3	0.4	
							介護実習Ⅰ	-	-	-	-	-	1.5	-	1.5	
							介護実習Ⅱ	-	-	-	-	2.3	-	2.3	-	
							介護実習Ⅲ	-	-	-	-	-	2.7	-	2.7	
							介護実習Ⅳ	-	-	-	-	-	0.7	-	0.7	
							障害の理解	0.2	0.7	-	-	-	-	0.2	0.7	
地域福祉研究	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0								
計①	1.0	2.7	7.1	10.2	2.3	4.9	10.4	17.8								

講師	松本 百合美	女	48	H15.10.1	H15.10.1	—	介護の基礎Ⅲ	0.8	-	0.5	-	-	-	1.3	-	県立広島大学大学院総合学術研究科保健福祉学修士課程修了 修士（保健福祉学）
							コミュニケーション技術Ⅰ	0.7	-	0.1	-	-	-	0.8	-	
							コミュニケーション技術Ⅱ	-	1.2	-	-	-	-	-	1.2	
							生活支援技術Ⅰ	1.1	0.4	2.5	2.7	-	-	3.6	3.1	
							介護過程Ⅱ	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	
							介護過程Ⅲ	-	-	-	-	-	-	-	-	
							介護過程Ⅳ	-	0.4	-	-	-	-	-	0.4	
							介護総合演習Ⅰ	0.1	-	0.3	-	-	-	0.4	-	
							介護総合演習Ⅱ	-	-	0.7	1.3	-	-	0.7	1.3	
							実習指導	-	-	0.3	0.4	-	-	0.3	0.4	
							介護実習Ⅰ	-	-	-	-	-	1.5	-	1.5	
							介護実習Ⅱ	-	-	-	-	2.3	-	2.3	-	
							介護実習Ⅲ	-	-	-	-	-	2.7	-	2.7	
							介護実習Ⅳ	-	-	-	-	-	0.7	-	0.7	
認知症の理解	-	1.3	-	-	-	-	-	1.3								
地域福祉研究	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0								
計①	2.7	3.3	6.4	8.4	2.3	4.9	11.4	16.6								
講師	大竹 晴佳	女	37	H17.4.1	H17.4.1	—	ヒューマン・タウンウォッチング	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	一橋大学大学院社会学研究科博士課程（社会問題・政策課程）修了 博士（社会学）
							社会保障概論	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							社会保障論	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	
							認知症の理解	0.7	0.7	-	-	-	-	0.7	0.7	
							障害の理解	1.3	-	-	-	-	-	1.3	-	
							地域福祉研究	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0	
							保健福祉行政論	2.0	2.0	-	-	-	-	2.0	2.0	
							計①	6.0	4.7	4.0	2.0	-	-	10.0	6.7	
社会福祉	-	1.0	-	-	-	-	-	1.0								
計②	6.0	5.7	4.0	2.0	-	-	10.0	7.7								

講師	三上 ゆみ	女	44	H20. 4. 1	H20. 4. 1	—	ヒューマン・タウンウォッチング	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	岡山県立大学保健福祉学研究科保健福祉学専攻修了 修士（保健福祉学）
							生活支援技術Ⅰ	0.1	0.3	1.6	1.6	-	-	1.7	1.9	
							生活支援技術Ⅱ	0.3	1.0	0.5	0.5	-	-	0.8	1.5	
							生活支援技術Ⅲ	0.8	-	0.5	-	-	-	1.3	-	
							介護過程Ⅱ	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	
							介護過程Ⅲ	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	
							介護総合演習Ⅱ	-	-	0.7	1.3	-	-	0.7	1.3	
							実習指導	-	-	0.3	0.4	-	-	0.3	0.4	
							介護実習Ⅰ	-	-	-	-	-	1.5	-	1.5	
							介護実習Ⅱ	-	-	-	-	2.3	-	2.3	-	
							介護実習Ⅲ	-	-	-	-	-	2.7	-	2.7	
							介護実習Ⅳ	-	-	-	-	-	0.7	-	0.7	
							障害の理解	-	1.1	-	-	-	-	-	1.1	
地域福祉研究	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0								
計①	1.2	2.4	7.6	7.8	2.3	4.9	11.1	15.1								
講師	池田 明子	女	46	H22. 4. 1	H22. 4. 1	—	地域文化演習	-	-	1.5	1.5	-	-	1.5	1.5	岡山大学大学院教育学研究科カリキュラム開発専攻科修了 教育学修士
							生活支援技術Ⅰ	-	0.1	1.2	1.1	-	-	1.2	1.2	
							生活支援技術Ⅱ	0.9	-	0.8	-	-	-	1.7	-	
							介護過程Ⅰ	0.8	0.9	0.2	0.1	-	-	1.0	1.0	
							介護過程Ⅱ	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	
							介護過程Ⅲ	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	
							介護過程Ⅳ	-	-	-	1.6	-	-	-	1.6	
							介護総合演習Ⅱ	-	-	0.7	1.3	-	-	0.7	1.3	
							実習指導	-	-	0.3	0.4	-	-	0.3	0.4	
							介護実習Ⅰ	-	-	-	-	-	1.5	-	1.5	
							介護実習Ⅱ	-	-	-	-	2.3	-	2.3	-	
							介護実習Ⅲ	-	-	-	-	-	2.7	-	2.7	
							介護実習Ⅳ	-	-	-	-	-	0.7	-	0.7	
地域福祉研究	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0								
計①	1.7	1.0	8.7	10.0	2.3	4.9	12.7	15.9								

助教	松永 美輝恵	女	33	H15. 4. 1	H21. 4. 1	—	ヒューマン・タウンウォッチング	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	岡山県立大学保健福祉学研究科 保健福祉学専攻 修士（保健福祉学）		
							コミュニケーション技術Ⅱ	-	0.8	-	-	-	-	-	-		0.8	-
							コミュニケーション技術Ⅰ	-	-	0.8	-	-	-	-	-		0.8	-
							生活支援技術Ⅰ	-	-	2.5	2.7	-	-	-	-		2.5	2.7
							介護過程Ⅱ	-	-	-	2.0	-	-	-	-		-	2.0
							介護過程Ⅲ	-	-	2.0	-	-	-	-	-		2.0	-
							介護過程Ⅳ	-	-	0.3	-	-	-	-	-		0.3	-
							介護総合演習Ⅰ	1.1	-	0.4	-	-	-	-	-		1.5	-
							介護総合演習Ⅱ	-	-	0.7	1.3	-	-	-	-		0.7	1.3
							実習指導	-	-	0.3	0.4	-	-	-	-		0.3	0.4
							介護実習Ⅰ	-	-	-	-	-	1.5	-	-		-	1.5
							介護実習Ⅱ	-	-	-	-	2.3	-	-	-		2.3	-
							介護実習Ⅲ	-	-	-	-	-	2.7	-	-		-	2.7
							介護実習Ⅳ	-	-	-	-	-	0.7	-	-		-	0.7
地域福祉研究	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-	2.0	2.0								
計①							1.1	0.8	11.0	8.4	2.3	4.9	14.4	14.1				

職名	氏名	性別	年齢	就 職 年 月 日	現 職 就 任 年 月 日	所属専攻	授業科目								最終学歴及び 学位称号	
							毎週授業時間数									
							科目名	講義		演習		実験・実 習・実技		計		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		後期
教授	福岡 悦子	女	63	H16. 4. 1	H16. 4. 1	—	△疫学調査	-	-	0.7	-	-	-	0.7	-	岡山大学大学院 医歯学総合研究 科修了 博士（医学）
							△公衆衛生看護学概論	1.2	1.6	-	-	-	-	1.2	1.6	
							△保健計画論	0.5	0.3	-	-	-	-	0.5	0.3	
							△健康教育論	0.5	0.5	-	-	-	-	0.5	0.5	
							△地域保健指導論・成人保健	1.7	-	-	-	-	-	1.7	-	
							△地域保健指導論・産業保健	-	1.7	-	-	-	-	-	1.7	
							△公衆衛生看護学研究	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0	
							△公衆衛生看護学実習Ⅰ	-	-	-	-	3.0	3.0	3.0	3.0	
							△公衆衛生看護学実習Ⅱ	-	-	-	-	6.0	-	6.0	-	
							△地域看護学演習	-	-	0.3	0.3	-	-	0.3	0.3	
計①	3.9	4.1	3.0	2.3	9.0	3.0	15.9	9.4								
准教授	金山 時恵	女	49	H2. 6. 1	H14. 4. 1	—	△疫学調査	-	-	0.7	-	-	-	0.7	-	吉備国際大学大 学院保健科学専 攻修士課程修了 修士（保健学）
							△地区活動論	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0	
							△保健計画論	0.3	0.5	-	-	-	-	0.3	0.5	
							△家族援助論	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							△健康教育論	0.5	0.4	-	-	-	-	0.5	0.4	
							△公衆衛生看護学研究	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0	
							△公衆衛生看護学実習Ⅰ	-	-	-	-	3.0	3.0	3.0	3.0	
							△公衆衛生看護学実習Ⅱ	-	-	-	-	6.0	-	6.0	-	
							△地域看護学演習	-	-	0.3	0.3	-	-	0.3	0.3	
							計①	2.8	0.9	5.0	4.3	9.0	3.0	16.8	8.2	

講師	矢庭 さゆり	女	47	H16. 4. 1	H16. 4. 1	—	△疫学調査	-	-	0.7	-	-	-	0.7	-	岡山県立大学大学院保健福祉学研究科看護学専攻(博士前期課程)修了 修士(看護学)
							△在宅ケアシステム論	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	
							△保健計画論	0.1	0.3	-	-	-	-	0.1	0.3	
							△地域保健指導論・高齢者保健	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	
							△地域保健指導論・保健指導特論	-	1.0	-	-	-	-	-	1.0	
							△公衆衛生看護学研究	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0	
							△公衆衛生看護学実習Ⅰ	-	-	-	-	3.0	3.0	3.0	3.0	
							△公衆衛生看護学実習Ⅱ	-	-	-	-	6.0	-	6.0	-	
							△地域看護学演習	-	-	0.3	0.3	-	-	0.3	0.3	
計①	2.1	3.3	3.0	2.3	9.0	3.0	14.1	8.6								

- [注] 1 「Ⅶ 1 全学の教員組織」(表20)に掲げた組織の順に教員数が一致するよう作成してください。ただし、短期大学附置研究所、学科附属研究所等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記入してください。
- 2 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、専攻科の授業科目には△印を付してください。
- 3 併設大学の授業も担当している場合には、授業科目名に下線を付して記入してください。なお、併設大学における大学院の科目を担当している場合には、△印を付してください。
- 4 「計①」には短期大学の担当授業時間数の合計を、「計②」には短期大学と併設大学の担当授業時間数の合計を、それぞれ記入してください。
- 5 毎週授業時間数は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、授業時間数に換算して記入してください(例えば1コマ90分の場合は2授業時間)。
- 6 1授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で割り、毎週授業時間数を算出してください。

3 専任教員年齢構成

(表22)

学科・専攻科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
幼児教育学科	教授	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	3	
		-%	-%	33.3%	66.7%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%	
	准教授	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
		-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%	-%	-%	-%	-%	100%
	講師	-	-	-	1	-	-	1	1	2	1	1	6
		-%	-%	-%	16.7%	-%	-%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	100%
	助教	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
		-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%	-%	-%	-%	-%	100%
合計		-	-	1	3	-	1	3	1	2	1	12	
		-%	-%	8.3%	25.0%	-%	8.3%	25.0%	8.3%	16.7%	8.3%	100%	
定年	65歳												

3 専任教員年齢構成

(表22)

学科・専攻科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
地域福祉学科	教授	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	
		-%	-%	100%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%	
	准教授	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
		-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%
	講師	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	4
		-%	-%	-%	-%	-%	50.0%	25.0%	25.0%	-%	-%	-%	100%
	助教	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
		-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%	-%	100%
合計		-	-	3	-	-	2	1	1	1	-	8	
		-%	-%	37.5%	-%	-%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	-%	100%	
定年	65歳												

3 専任教員年齢構成

(表22)

学科・専攻科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
地域看護学 専攻科	教授	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
		-%	-%	100%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%	
	准教授	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
		-%	-%	-%	-%	-%	100%	-%	-%	-%	-%	-%	100%
	講師	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
		-%	-%	-%	-%	-%	100%	-%	-%	-%	-%	-%	100%
	助教	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
		-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%
合計		-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	3	
		-%	-%	33.0%	-%	-%	67.0%	-%	-%	-%	-%	100%	
定年	65歳												

3 専任教員年齢構成

(表22)

学科・専攻科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
看護学科	教授	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
		-%	-%	100%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%	
	准教授	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
		-%	-%	-%	100%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%
	講師	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
		-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%
	助教	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
		-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%
合計		-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2	
		-%	-%	50.0%	50.0%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	100%	
定年	65歳												

[注] 1 「Ⅶ 1 全学の教員組織」(表20)中、学科、専攻科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに教員数が一致するよう作成してください。ただし、教養教育担当者が学科に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学科から除き、教養教育担当者の表を学科に準じて別個に作成してください。

2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

4 専任教員の担当授業時間

幼児教育学科（12人）

《①》 ※短期大学のみ授業時間数

(表23)

教員 区分	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	11.0 授業時間	11.0 授業時間	13.7 授業時間	10.2 授業時間	1 授業時間 4 5 分
最低	1.0 授業時間	4.0 授業時間	5.3 授業時間	10.2 授業時間	
平均	6.3 授業時間	7.5 授業時間	10.3 授業時間	10.2 授業時間	

(注) 教授で最低の2.0授業時間は、学科の教育内容において、教員の専門性と対応する授業科目が少ないため。

《②》 ※併設大学の担当授業科目も含めた授業時間数

教員 区分	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	12.0 授業時間	12.0 授業時間	13.7 授業時間	10.2 授業時間	1 授業時間 4 5 分
最低	2.0 授業時間	6.7 授業時間	7.2 授業時間	10.2 授業時間	
平均	6.9 授業時間	9.4 授業時間	11.1 授業時間	10.2 授業時間	

責任授業時間数					
---------	--	--	--	--	--

地域福祉学科（ 8人）

《①》 ※短期大学のみの授業時間数

（表23）

教員 区分	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	14.1 授業時間	—	14.3 授業時間	14.3 授業時間	1 授業時間 4 5 分
最 低	6.5 授業時間	—	8.4 授業時間	14.3 授業時間	
平 均	11.3 授業時間	—	12.5 授業時間	14.3 授業時間	

《②》 ※併設大学の担当授業科目も含めた授業時間数

教員 区分	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	14.1 授業時間	—	14.3 授業時間	14.3 授業時間	1 授業時間 4 5 分
最 低	6.5 授業時間	—	8.9 授業時間	14.3 授業時間	
平 均	11.3 授業時間	—	12.6 授業時間	14.3 授業時間	

責任授業時間数					
---------	--	--	--	--	--

地域看護学専攻科（ 3人）

《①》 ※短期大学のみ授業時間数

（表23）

教員 区分	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	12.7 授業時間	12.5 授業時間	11.4 授業時間	—	1 授業時間 4 5 分
最低	12.7 授業時間	12.5 授業時間	11.4 授業時間	—	
平均	12.7 授業時間	12.5 授業時間	11.4 授業時間	—	

《②》 ※併設大学の担当授業科目も含めた授業時間数

教員 区分	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	12.7 授業時間	12.5 授業時間	11.4 授業時間	—	1 授業時間 4 5 分
最低	12.7 授業時間	12.5 授業時間	11.4 授業時間	—	
平均	12.7 授業時間	12.5 授業時間	11.4 授業時間	—	

責任授業時間数					
---------	--	--	--	--	--

- [注] 1 「Ⅶ 1 全学の教員組織」（表20）中、学科、専攻科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに教員数が一致するよう作成してください。
- 2 「Ⅶ 2 専任教員個別表」（表21）で算出した毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該短期大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記入してください。なお、専任教員が併設大学の授業科目も担当している場合は（表21参照）、大学の担当授業も含めた授業時間も②の表に記入してください。
- 3 「備考」欄に1授業時間が何分であることを記入してください。（例：1コマ90分（2授業時間）の場合、1授業時間は45分）
- 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄は空欄で構いません。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その理由を欄外に付記してください。また、事情により授業を持っていない教員については計算の対象から外し、その理由を欄外に付記してください。
- 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めてください。

5 専任教員の給与

(表24)

	専任教員俸給額(年収) (円)			
	教授	准教授	講師	助教
最低	7,850,315	6,163,498	5,198,327	*
平均	8,676,524	6,830,166	6,214,417	5,363,976

- [注] 1 本「短期大学基礎データ」作成前年1月から12月の1年間を対象として作成してください。
 2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入してください。
 3 原則として「Ⅶ 1 全学の教員組織」(表20)に掲げた組織の順に作成してください。
 4 「最低」、「平均」の記入にあたっては、上記1の期間の途中で採用及び退職した者を除いてください。

この表は、本来、学科・職位ごとに掲載するものであるが、個人情報保護の観点から、短期大学全体を通算して示した。また、助教は2名であるため、同様の理由で平均のみを示した。

VIII 事務組織

1 事務組織

(表25)

	部署名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
業務系 法人	総務課	4	2	1	2	-	-	7
	計	4	2	1	2	0	0	7
業務系 短期大学	学務課	4	1	-	1	-	-	5
	計	4	1	0	1	0	0	5
合計		8	3	1	3	0	0	12

- [注] 1 それぞれの部署について、業務の内容から「法人業務系」と「短期大学業務系」に大別して記載してください。
- 2 「専任職員」欄には、期間の定めのない雇用で、常時勤務している職員数を、「常勤嘱託職員」欄には、期間の定めはあるが、専任職員に準じた雇用形態をとっている職員数を、「兼務職員」欄には、雇用期間が6カ月以上の職員数を、「派遣職員」欄には、労働者派遣契約を締結することにより受け入れている職員数をそれぞれ記入してください。
なお、いずれにも該当しない職員については、「その他」欄に記入してください。
- 3 部長・次長など「課」に属さない職員は、「部」でまとめて記入してください。
- 4 部単位に「小計」、各系ごとに「計」を入れ、それぞれ集計してください。
- 5 「助手」は、「VII 1 全学の教員組織」(表20)に記入してください。

IX 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表26)

校 地 ・ 校 舎				講 義 室 ・ 演 習 室 等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要校地面積 (m ²)	校舎面積(m ²)	設置基準上必要校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・学生自習室総数	講義室・演習室・学生自習室総面積 (m ²)
26,680m ²	2,000m ²	11,433m ²	3,000m ²	23	1,800

[注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられます。

2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても構いません。

※設置基準上必要面積について

各学科収容定員	看護学科（保健衛生学関係）	180人
	幼児教育学科（教育学・保育学関係）	100人
	地域福祉学科（社会学・社会福祉学関係）	100人
	地域看護学専攻科（保健衛生学関係）	15人
	計	395人

必要校地面積（短期大学設置基準第30条）

$$10\text{m}^2 \times 395\text{人} = 3,950\text{m}^2$$

必要校舎面積（短期大学設置基準第31条、別表第2）

看護学科	幼児教育学科	地域福祉学科	地域看護学専攻科	合計
2,350m ²	1,250m ²	1,000m ²	1,250m ²	= 5,850m ²

2 学科・専攻科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表27)

学科・専攻科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積 (m ²)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	学生総数	在籍学生1人あ たり面積 (m ²)	備考
幼児教育学科	講義室	2	195	専用	102	102	1.91	
	演習室	12	375	専用	131	102	3.68	
	実験室	2	52	専用	30	102	0.51	
	実習室	1	17	専用	10	102	0.17	
	学生自習室	0	-	-	-	-	-	
地域福祉学科	講義室	2	228	専用	102	102	2.24	
	演習室	1	128	専用	54	102	1.25	
	実験室	0	-	-	-	-	-	
	実習室	2	367	専用	104	102	3.60	
	学生自習室	0	-	-	-	-	-	
地域看護学専攻科	講義室	1	43	専用	17	17		
	演習室	0	-	-	-	-		
	実験室	0	-	-	-	-		
	実習室	0	-	-	-	-		
	学生自習室	0	-	-	-	-		
看護学科	講義室	1	152	専用	64	64	2.38	学科3年
	演習室	-	-	-	-	-	-	
	実験室	2	30	共用	10	192	0.16	併設大学(128名)と共用
	実習室	3	533	共用	64	192	2.78	併設大学(128名)と共用
	学生自習室	-	-	-	-	-	-	

学科・専攻科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積 (㎡)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	学生総数	在籍学生1人あ たり面積(㎡)	備考
共用	講義室	1	326	共用	204	396	0.82	看護・幼教・地福・四大・(専攻)
	演習室	1	158	共用	30	204	0.77	幼教・地福
		1	150	共用	67	396	0.38	看護・幼教・地福・四大・(専攻)
	実験室	1	140	共用	65	294	0.48	看護・幼教・四大
	実習室	1	142	共用	60	396	0.36	看護・幼教・地福・四大
	学生自習室	1	45	共用	30	396	0.11	全学科・四大
	体育館	1	924	共用				全学科・四大

- [注] 1 学科、専攻科ごとに記入してください。
- 2 当該施設を複数学科、併設大学等が共用している場合には、当該学科・専攻科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「学生総数」欄にも共用する学科、併設大学等の学生を含めた数値を記入してください。ただし、専攻科との共用関係については、ここには記入しないでください。したがって「在籍学生1人あたり面積」の算出にあたっては、専攻科学生数は除いてください。
- また、「在籍学生1人あたり面積」の算出には、昼夜開講制の場合の夜間主コースの学生数や固有の施設を持たない夜間の学生数は含めないでください。
- 3 全学で全ての施設を共用している場合は、「学科・専攻科等」欄に「全学共通」と記入してください。
- 4 教養教育のための専用施設がある場合は、学科に準じて記入してください。
- 5 「在籍学生1人あたり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで表示してください。
- 6 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。
- 7 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記入してください。

3 規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表28)

学 科 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率 (%)	備 考	
幼児教育学科	1 ～ 5	10	300	6	2.0		
	5 ～ 50	6		62	20.7		
地域福祉学科	1 ～ 50	5		57	19.0		
地域看護学専攻科	1 ～ 20	1		30	10.0		
看護学科	1 ～ 65	6		89	29.7		
その他	1 ～ 50	1		2	0.7		
	51 ～ 65	1		2	0.7		
	66 ～ 180	1		8	2.7		
計		31			256	85.3	

- [注] 1 原則として学科ごとに作成してください。
 2 使用教室数は、当該学科の正規の授業として使用している教室数を指し、総授業時数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業科目数を示します。なお、使用率は、(使用度数/総授業時数)により算出します。
 3 収容人員については、短期大学の実情に応じて適宜区分してください。

X 図書館および図書・電子媒体

1 図書、資料の所蔵数

(表29)

図書館の名称	図書の冊数（冊）		定期刊行物の種類（種類）		視聴覚資料の所蔵数（点数）	電子ジャーナルの種類（種類）	過去3年間の図書受け入れ状況			備考
	図書の冊数	開架図書の冊数（内数）	内国書	外国書			2008年度	2009年度	2010年度	
新見公立大学附属図書館	76,450	76,450	71,081	5,369	622	0	2,400	2,620	2,525	併設大学と共用

- [注] 1 雑誌等ですでに製本済のものは図書の冊数に加えても構いません。
 2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。
 3 併設大学と共用の場合は備考欄にその旨明記してください。
 4 視聴覚資料の所蔵数については、実数ではなくタイトル数を記入してください。

2 学生閲覧室等

(表30)

図書館の名称	学生閲覧室	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室の 座席数 (グループ閲覧 室)	備 考
	座席数 (A)				
新見公立大学附属図書館	167	455	36.7	34	大学 240 短期大学 215

- [注] 1 「学生収容定員」には、学科学生、専攻科学生、別科の学生収容定員のほか、当該施設を併設大学と共用している場合には大学の学生収容定員もこの数に加え、備考欄に数の内訳を記入してください。
- 2 その他に学習室がある場合には、その具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄の()内に明記した上で座席数を記入してください。

3 図書館利用状況

(表31)

図書館の名称	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	年間 開館日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸出冊数			備 考
					2008年 度	2009年 度	2010年 度	2008年 度	2009年 度	2010年 度	
新見公立大学附属図書館	0 (0)	3 (3)	337	月～金 9 : 0 0 ～ 2 0 : 0 0	17,965人	16,462人	16,804人	7,364冊	8,406冊	9,478冊	
				土 1 0 : 0 0 ～ 1 8 : 0 0	1,114 16,851	828 15,634	795 16,009	1,095 6,269	1,315 7,091	1,243 8,235	
				日祭日 1 0 : 0 0 ～ 1 8 : 0 0							
				長期休暇中 1 0 : 0 0 ～ 1 8 : 0 0							

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを（ ）内に内数で記載してください。
 2 年間利用者数・貸出し冊数には、短期大学の学生及び教職員の利用状況を指し、一般開放による地域住民等は含みません。
 3 「年間利用者数(延べ数)」及び「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、（ ）内に記入してください。

XI 財 務

1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立短期大学のみ（表32-1）
該当なし

（表32-1）

(表32-2)

1-2 消費収支計算書関係比率（私立短期大学単独のもの） ※私立短期大学のみ（表32-2）
該当なし

2 貸借対照表関係比率（私立短期大学のみ）（表33）
該当なし

XII 情報公開・説明責任

1-1 財政公開状況（私立大学のみ）（表34-1）
該当なし

（表34-1）

1-2 財政公開状況（公立大学法人のみ）

（表34-2）

公開の対象者	公開している財務諸表 及びその解説	公開の方法							開示請求があ れば対応する
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌 ・紙	大学機関誌 ・紙	財務状況に関 する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	
教職員	資金収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	○	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他()	—	—	—	—	—	—	—	—
在学生	資金収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	○	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他()	—	—	—	—	—	—	—	—
卒業生	資金収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	○	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他()	—	—	—	—	—	—	—	—
保護者	資金収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	○	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他()	—	—	—	—	—	—	—	—
社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	○	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他()	—	—	—	—	—	—	—	—
その他 ()	資金収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	—	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他()	—	—	—	—	—	—	—	—

- [注] 1 2010年度決算について、地方独立行政法人法第34条4項等に基づき2011年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄うち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」及び「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2011年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。